

地域・在宅看護論

専門分野

(令和6年度3年生用)

授業科目	訪問看護実習	氏名	藤本祥子	開講年次		単位・時間	
		所属	専任教員	3年次	1単位 30時間		
		実務経験	臨床看護師				
実習目的	生活の場（地域）で在宅療養者、家族が抱える対象に健康上の問題を通して在宅療養者と家族の健康レベル、疾病、病期と向き合い、その生活を多職種と連携し、看護専門職として支援していくための看護実践力を高め、主体的に学び続ける態度を養う。						
到達目標							
知識・技術	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 地域で暮らす療養者と家族が抱える在宅看護の現状と問題点を説明できる。</li> <li>2. 訪問看護を利用するための制度、利用しているサービスの内容が記述できる。</li> <li>3. 家族の介護の実施、生活実況、心理状況について説明できる。</li> <li>4. 地域包括ケアシステムにおける多職種連携の中で、訪問看護師としての連携・協働の方法を記述できる。</li> <li>5. 同行訪問で看護の場面の見学、必要に応じて看護援助を実践することができる</li> </ol>						
思考・判断・表現	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 同行訪問で、療養者だけでなく、家族への援助も考えることができる。</li> <li>2. 提供されている看護援助の必要性と課題を検討し、改善案を提案できる。</li> <li>3. カンファレンスを通して、自分の意見を述べることができる。</li> <li>4. 対象が地域で生活出来るための在宅看護の在り方について文献検索と比較し記述できる。</li> </ol>						
主体的学習態度	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 同行訪問で療養者・家族とコミュニケーションを取りながら情報を取ることができる。</li> <li>2. 療養者、家族に対して相手を尊重した態度・言葉使い・対応ができる。</li> </ol>						
実習期間及び実習時間	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 実習期間：5日間（臨地実習5日間、学内実習2時間）</li> <li>2. 実習時間：原則として8：30～14：00</li> </ol>						
実施内容及び実習方法	(実習内容) 地域で暮らす療養者・家族の現状と問題点から看護援助、社会資源、多職種連携について学ぶ。 (実習方法) 訪問看護師に同行し、看護場面の見学及び必要に応じて看護技術を実践する。						
実習施設	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 水光会ふくま訪問看護ステーション</li> <li>2. 公益社団法人 福岡県看護協会訪問看護ステーション こが</li> <li>3. セノータ訪問看護ステーション 福岡東ステーション</li> <li>4. 医療法人 社団 廣徳会 岡部病院 訪問看護ステーション 菜の花</li> <li>5. 株式会社にじの色 なないろライフケア</li> </ol>						
評価方法及び評価基準	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 「評価規程」及び「実習に関する規程」、「追実習及び再実習に関する規程」に基づいて行う。</li> <li>2. 在宅看護実習Ⅱの実習状況を基に、評価表により100%評価とする。</li> </ol>						
テキスト	在宅看護論①地域療養を支えるケア（メディカ出版） 在宅看護論②在宅療養を支える技術（メディカ出版）						
参考文献	在宅看護論（医学書院）						
留意事項	同行訪問では、訪問宅でマナー、節度を守り学習者としての認識を持ち実習に臨むこと 夏以降に1～順に実習開始 実習記録：訪問看護記録1.2						